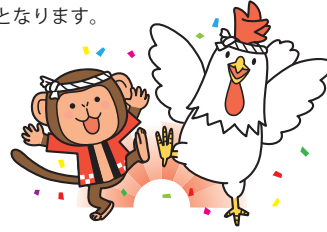


昨年の主な食品表示ニュースと今後の予定

あけましておめでとうございます。おかげさまでラベルバンク新聞も9年目となります。本年もどうぞ、お付き合いのほどよろしくお願いいたします。

さて昨年(2016年)も食品表示に関する様々な出来事がありましたので、こちらにまとめてみたいと思います。日ごろより食品表示の実務に携わる方は、新しい食品表示基準への対応等で忙しくされていると思いますので、こちらが改めて確認できる機会になればと思います。



● 昨年の主な出来事 ●

2016年	3月	「食品表示基準について」の一部改正(第4次改正)(製造所固有記号の届出関連) 機能性表示食品の届出等に関するガイドライン 一部改正
	4月	機能性表示食品の届出書作成に当たっての留意事項 一部改正 機能性表示食品の届出書作成に当たっての確認事項 一部改正 機能性表示食品制度届出データベース 運用開始 製造所固有記号制度届出データベース 運用開始 不当景品類及び不当表示防止法の一部を改正する法律 施行(課徴金制度関連) 食品表示法における酒類の表示のQ&A 一部改正(製造所固有記号関連)
	7月	健康食品に関する景品表示法及び健康増進法上の留意事項について 運用開始
	8月	「食品表示基準について」の一部改正(第5次改正) (業務用加工食品及び業務用添加物の製造所固有記号の取扱い関連)
	9月	生鮮食品の旧基準表示経過措置期間終了
	10月	特定保健用食品に関する質疑応答集について 公表
	11月	「食品表示基準について」の一部改正(第6次改正) (安全性審査済みの遺伝子組換え食品の検査方法関連) 特別用途食品制度に関する検討会報告書 公表 加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ 公表 特定保健用食品の表示許可等について 改正
	12月	食品のインターネット販売における情報提供の在り方懇談会報告書 公表 「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」に係る説明会の開催 機能性表示食品制度における機能性関与成分の取扱い等に関する検討会報告書公表

その他、亜塩素酸水の使用に関する改正が「食品、添加物等の規格基準の一部を改正する件について(厚生労働省)」において公表されています(残留農薬基準値設定含め、昨年4月、6月、9月の3回)。また、「食品表示基準について(施行通知)」は昨年だけで3回改正されており、手元の資料が古い場合は最新のものに差し替えておくとういでしょう。なお、食品表示基準Q&Aについては、一昨年の12月に改正(第2次改正)があつて以来、変更はされていません。

● 今後予定されていること ●

そして今後予定されている食品表示関連の出来事についても、まとめてみたいと思います。

2017年	1月	「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」に係る説明会の開催(2016年12月より引き続き)
2018年	4月	機能性表示食品制度見直し目途(「施行後2年を目途に新制度の施行状況を検討」)
2020年	3月	「食品表示基準」の経過措置期間(加工食品、添加物)終了 「日本人の食事摂取基準(2015年版)」の使用期間終了
未定		加工食品の原料原産地表示制度の一部改正に伴う食品表示基準、Q&A等の改正(経過措置期間に関する情報の公表含む)

昨年、国内の出来事でもっとも影響が大きいと思われるものは、「加工食品の原料原産地表示制度に関する検討会中間取りまとめ」にて、「国内で製造し、又は加工した全ての加工食品を義務表示の対象とする」と公表されたことではないかと思えます。こちらの改正については公表後の現在においても各方面から様々な意見が出されているため、今後のパブリックコメントの結果によってQ&A等での記載に少なからず影響があるものと思えますが、引き続き注視が必要なテーマと考えています。

ちなみに、海外でもこうした制度改正は実施されています。EUでは昨年12月に栄養成分表示の改正に関する猶予期間が終了し、中国でも昨年10月に修正食品安全法実施条例案が公表されています。アメリカでは2018年7月までに、栄養成分表示に添加糖類が必要になるなどの改正がされています。それぞれの国民の関心にあわせて制度が改正されているとすれば、今、日本では原料の原産地に対して関心が高まっていると言えます。そして、なぜ関心が高まっているのかを考えてみるのが大切だと思います。

よりよい製品を製造し、より多くの人に食べてもらうためには、その製品の品質を正確に知ってもらうことが必要になります。そのための食品表示でもありますので、こうした制度改正に関する情報も把握しつつ、今、社会が求めていることは何なのかを考えながら、今後もこうした記事を書いていきたいと思えます。それでは、今年もどうぞ、よろしくお願いいたします。

ラベルバンク新聞

発行所
株式会社ラベルバンク
大阪市淀川区西中島5-12-8
新大阪ローズビル6F
TEL: 06-6838-7090
FAX: 06-6838-7091
[http://label-bank.co.jp/
support@label-bank.co.jp](http://label-bank.co.jp/support@label-bank.co.jp)

第96号



あけましておめでとうございます 本年もよろしくお願いたします



昨年、ラベルバンクをご愛顧いただき、誠にありがとうございました。
本年も一層のサービス向上を目指し、誠心誠意取り組んでまいります。
何卒、本年も昨年同様のご支援をよろしくお願致します。

あけましておめでとうございます。

旧年中は大変お世話になりました。
おかげさまでラベルバンク新聞も第96号目となり、第100号まであと少しという年を迎えることができました。

今年もいろいろなことが起こると思いますが、まずは今の仕事をしっかりとできる素地をつくることを第一に考えたいと思います。

そして会社も、従業員も、私も、家族も健康でいられるよう、そんな年にしていきたいと思っています。

それでは、今年一年もお付き合いのほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。
(川合)

●大阪本社

旧年は、大変なご愛顧いただきありがとうございました。また、自分にとっても周囲の環境がガラッと変わった一年となり、自身を顧みる機会となったこと、深く印象に残る一年でした。本年もなにとぞよろしくお願いたします。
(井上)

昨年は環境の変化があつたり、新しいことへ挑戦をしたりと、「出会い」の年であつたと感じています。今年も引き続き、自身の視野を広げ、さらには「向上」の年にできればと思っています。
(清水)

旧年中は大変お世話になり、ありがとうございました。私事としては、ラベルバンクに入社し、色々と新しいことにチャレンジさせていただけました。今年は昨年度の経験をもとに飛躍の年になりたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。
(亀井)

2017年は、日本の食文化がますます色々な国々へ出て行く年になると思います。微力ながらその為のお力添えが出来ればと思っています。本年もどうぞよろしくお願致します。
(亀山)

Bonne année! あつとつう間に経つた一年の割に、さまざまな大きな変化がありました。

2017年はそれらの結果を有効にし、新たな習慣を作つてより高い目標を定めたいと思います。きちんと果たせるかどうか、その後のチャレンジも、楽しみです。
(ヤン)

昨年末のオフィス移転で環境が良くなり、より意欲的に働いています。自宅も引越するなど変化の多かった年でしたが、今年は少し落ち着いて目標に向けて取り組み、公私共に充実した年になりました！
(山口)

入社したばかりで皆さんの足を引っ張るばかりですが、早く仕事を覚え、任せてもらえるように頑張ります！よろしくお願いたします。
(田尻)

●東京オフィス

常に、初心と感謝の心を忘れず、過ごしていきたいと思っています。また、皆様と直接お会いする機会はありませんが、陰ながらお役に立てますよう日々精進してまいります。
(齊藤)

みなさま、昨年はお世話になりました。ありがとうございました。これからもご愛顧していただけるよう、サービスを心がけ日々精進してまいります。今年も心穏やかに、人に優しく、そして家族や友人、自分の時間をもっと大切にしたいと思っています。
(武川)

昨年入社して、まもなく一年を迎えようとしています。日本と海外の食品表示について色々勉強することができ、充実した一年でした。本当に感謝感激です。今年も引越して、大阪に異動となります。環境は変化しても、勉強し続け、新しいチャレンジに取り組んでいきたいと思っています。
(黄)

今月の「お気に入り」言葉

田子の浦に うち出でてみれば 白妙の 富士の高嶺に 雪は降りつつ
山部赤人